

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	8	課題区分	C	令和8年(2026年)4月1日	
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局	
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ						
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	伝統的工芸品の価値・魅力発信によるファン拡大事業				電話	0268-25-7141	
				E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	職人の技や歴史への理解を深める段階へと来訪者の関心を育み、継続的に関わりを持ちたいと思えるファン層を増やすことで将来にわたり支える関係性を形成する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を中心に一定の認知はあるものの、その歴史や技、素材へのこだわりといった価値が十分に共有されておらず、理解の深度にばらつきがある。また、若年層が伝統的工芸品に触れ、意見を伝える機会も限られており、将来に向けた視点や新しい感性が産地の取組に反映されにくい状況にある。 ・イベントでの体験は人気を集める一方、時間的・人的制限により職人が価値を伝えきれず、深い理解につながりにくい構造的な課題がある。さらに、若年層の考え方や情報接触方法が多様化する中で、学生の視点を取り入れた展示や発信の工夫が不足しており、将来担い手となる層との接点づくりが進んでいない。この状況を踏まえ、認知から価値理解、継続的な関心へとつなげる体系的な取組が必要である。 					
概要等	内容 (変更後の内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統的工芸品取扱店Mapの配置 即座に分かる取扱店舗の一覧を掲載したチラシの常設 2 地域イベントの出演・開催 <ul style="list-style-type: none"> ・げんきまるこ産業フェスタへのブース出演 伝統的工芸品の展示や製作体験を行うブースの出演 ・長野県PRイベントに併せた出演 営業局が実施するイオンモールにおける長野県PRイベントに併せ、展示・実演等を実施 ・木曾くらしの工芸館における実演・物販会 常設展示による認知に加え、多くの観光客が訪れる時期に合わせ、職人による実演や対話、実物に触れて購入できるイベントの開催 ・上田地域伝統的工芸品展の開催 ミライフス in Uedaの開催日と同日にアリオ上田のイベントスペースを活用し、展示・実演・体験・映像を組み合わせたイベントの開催 3 学生との連携による魅力発見ワークショップの開催 産地や工房の歴史・技術を学ぶ座学に加え、実際に職人から指導を受けながら製作工程の一部を体験する機会を設けるとともに、大学生のアイデアを収集するワークショップを開催 					
	事業期間	令和8年(2026年)4月		～	令和9年(2027年)3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	地域イベント出演・開催に係る基本経費	備品・材料の調達	277,000	<ul style="list-style-type: none"> ・缶バッチ 50,000円 ・のぼり旗 27,500円 ・白布 18,000円 ・ポスター制作 82,500円 ・チラシ制作 99,000円 			
	げんきまるこ産業フェスタ	ブース出演	30,000	・製作体験材料費 30,000円			
	長野県PRイベント	出演	60,000	・運搬費補助 60,000円			
	木曾くらしの工芸館	実演・物販会	20,000	・木曾くらしの工芸館会場費 20,000円			
	上田地域伝統的工芸品展	開催	460,000	<ul style="list-style-type: none"> ・アリオ上田会場費 400,000円 ・製作体験材料費 60,000円 			
	学生との連携による魅力発見ワークショップ	開催	27,000	講師謝金 8,700円 * 3H			
合計		874,000					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	チラシの配置件数		3件		○ 達成		
	地域イベントのブース出演来場者数		400人		○ 一部達成		
	伝統的工芸品の魅力発信につながるアイデア件数		3件		● 未達成		
事業実績・成果							
今後の方向性							